

三陸沿岸道路 野田久慈道路 復興事業に発生土を活用

概要

三陸沿岸道路「野田久慈道路」は、普代村代16地割から久慈市新井田（久慈IC）を結ぶ延長2.5kmの自動車専用道路です。この区間は、平成23年度に事業化となりました。現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、各都市の連絡時間短縮による地域間交流の活性化や、流通効率化による地場産業の復興支援、救急医療施設へのより迅速な搬送による安心な暮らしのほか、災害時には救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上が期待されています。

この度、三陸国道事務所では野田久慈道路の工事で発生する土砂を、野田村内で実施している復興事業に提供し、地域の復興事業を積極的に支援してまいります。それに伴い説明会を開催し、当日は新聞記者やテレビ関係者の方々に参加いただきました。

野田久慈道路 復興事業に発生土を活用 現場概要説明会

開催日時：平成27年5月22日（金）11:00～

開催場所：野田村第10地割 地内



▲野田久慈道路について説明



▲トラックで土砂を運搬



▲防潮堤復旧工事の現場▲

